

9月8日9時30分 CRT スタジオで収録

高校「探究型学習」の勉強の仕方を考える

開倫塾

塾長 林明夫

<はじめに>

台風13号は、9月8日午後にも東海から関東地方に接近し、上陸する見込みです。台風の接近に伴い線状降水帯が発生し、関東南部を中心にこのあとさらに雨が強まる恐れがあります。台風通過後も河川の氾濫と土砂災害などが予想されます。嚴重注意をお願いします。

Q1：高校で必修科目として行われている探究型学習で大切なことは何ですか。

A：(1) <探究型学習>とは

- ①現代社会の「課題の発見」・・・何が問題か
- ②「原因の推定」・・・本当の原因は何か
- ③「応急措置」・・・とりあえずどうするか
- ④「制度設計」・・・どう仕組みを作るか



(2) これらを1年間かけて行うことです。

(3) これらを行うには「高い志」と「積極果敢な行動」が求められます。

○この第一歩として「新聞」は毎日お読みください。

Q2：「高い志」をどう学んだらよいのですか。

A：<お役に立つ4冊の本をご紹介します>どうか、一語一語、ゆっくり、腰を落ち着けて、何回も、何回も、一生かけて、お読みください。「著者との時空を超えた対話」をお楽しみください。

(1) 内村鑑三著「後世への最大遺物・デンマーク国の話」岩波文庫、岩波書店 1946年10月10日刊

(2) 内村鑑三著「代表的日本人」岩波文庫、岩波書店 1995年7月17日刊

(3) 福沢諭吉著「福翁自伝」岩波文庫、岩波書店 1978年10月1日刊

(4) 福沢諭吉著「学問のすすめ」岩波文庫、岩波書店 1942年12月21日刊



Q3：どんな順序で読んだらよいのですか。

A：(1) まず、内村鑑三の「後世への最大遺物」を読み、次に、「デンマーク国の話」。

(2) 次に、「代表的日本人」と「福翁自伝」。

(3) 最後に、「学問のすすめ」。

○一冊でもOKですから、じっくりお読みください。

Q 4 : 課題が決まったらどのように調査・研究したらよいのですか。

A : (1) 高校3年間の全教科の教科書で、そのテーマがどのように取り扱われているのかを調べるのが第1。

(2) 学校図書館、区立・市立・町立図書館、都立・県立図書館に出掛け、そのテーマについての基本文献を調べるのが第2。

(3) 都内・県内の新聞社、近くにある全国紙の支局に行き、そのテーマについて都内・県内の動きを教えてもらうのが第3。

(4) 都庁・県庁、区役所・市役所・町役場、商工会議所・商工会、経済同友会、中小企業団体中央会、国際交流協会、社会福祉協議会、ジェトロなどに行き、お話を聞くのが第4。

(5) 都内・県内の大学で、そのテーマについて研究している大学の先生を訪問するのが第5。



Q 5 : 最後に一言どうぞ

A : (1) 「公共」「高校倫理」「政治経済」は、探究学習に直結します。

(2) 特に「高校倫理」は、「課題解決」に向けて、すべての議論の前提となる、「物事の考え方の基本となる考え方」、「世界の代表的な考え方(思想)」を学びます。しっかりお取り組みください。

○一生かけて、じっくり、学び続けるのにふさわしいのが、「高校倫理」です。

(3) 興味関心が深まったら、大学や大学院進学、仕事の選択や、社会的な活動なども、結び付けていただきたく希望します。

○一生かけて、学び続けてください。

ご質問、ご意見がありましたら、先生方に遠慮なくお聞きしてください。

